

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

深層学習を用いた潰瘍性大腸炎の臨床病理学的検討		
1. 研究の対象および研究対象期間 2019年4月から2022年12月までに、昭和大学横浜市北部病院で診療された潰瘍性大腸炎患者さん		
2. 研究目的・方法 近年、潰瘍性大腸炎の活動性評価法として大腸粘膜生検検体を対象とした組織学的評価が注目されている一方で、評価法として定まったものはありません。中でも杯細胞量の評価法について言及した報告活動性の評価として有用とする報告とそうでない報告があり、その意義はよくわかっていません。今回の研究は潰瘍性大腸炎の寛解期の患者様から採取させていただいた検体から深層学習を用いて杯細胞の定性的を行います。これにより潰瘍性大腸炎の症状悪化予測に役に立つ可能性があります。		
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2024年12月31日まで		
4. 研究に用いる試料・情報の種類 病理標本(病理組織ガラス標本、病理組織ホルマリン固定パラフィン包埋ブロック) 病理診断に付随する資料(病理検査申込書、病理検査報告書、カルテ) (患者さんから新たな検体の採取をお願いすることはありません)		
5. 外部への試料・情報の提供 本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和大学横浜市北部病院の外部から切り離されたコンピューター内およびUSBメモリにパスワードを設定して保存されます。データの保存媒体であるUSBメモリにもパスワードを設定し、研究者間で直接手渡して共有されます。		
6. 研究組織		
研究責任者	昭和大学医学部 臨床病理診断学講座	小原 淳
研究分担者	昭和大学横浜市北部病院	根本 哲生

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部臨床病理診断学

氏名：小原 淳

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8000(内 8122)

研究責任者：小原 淳